

2009 近山スクール東京

木造住宅をたてる人、つくる人のための実践講座

木の家に暮らすことは、身心ともに健やかで快適な生活につながります。

日本の木で家をつくることで山は健全に循環し、CO₂の吸収・定着や治水、生態系の維持、資源の循環といった環境面でも大きく貢献します。

しかし、今の時代、様々な要因により本格的な木造住宅をつくるのが難しくなっています。法改正など、現状も変化しています。

本講座は、木を知り、技術を理解し、法その他の社会システムを読み解きながら、本物の木造住宅のつくり方を多方面から学ぼうというものです。

講座を担当するのは、様々な分野の第一人者ばかりです。是非とも、本物の木造住宅について基礎から一緒に学びましょう。

《講座の概要》

- 日程： 10月17日(土)～2010年3月20日(土) 13:00～17:00
 (全6回：毎月1回、但し2月は無し、3月のみ2回、詳しい日程は次ページ参照)
- 会場： 芝浦工業大学豊洲キャンパス 404 教室
- 対象者： 木造住宅を建てたい一般の方および設計事務所、工務店などの実務者、木造を学びたい学生。
- 受講料： 一般 35,000 円(1回 6,500 円 ※)
 学生 20,000 円(1回 4,000 円 ※)
- 申込方法： ホームページの申込フォームまたは FAX でお申し込みください。
- 支払方法： 郵便振替用紙(手数料無料)をお送りしますのでお振り込みください。
- ※ 過去に受講したことがある方は、各回を選択して受講できます。

《講座のねらい》

住まいのあり方や環境共生などの観点から、木の長所も短所も科学的に正しく理解し、今の時代における本物の木造住宅について考えることを目的としています。



近山スクール東京
tokyo.school@chikayama.com

主催： 近山スクール東京
 住所： 〒177-0034 東京都練馬区富士見台 3-24-10
 電話： 03-5971-2309
 Fax： 03-5971-2329
 メール： tokyo.school@chikayama.com
 HP： <http://tokyo.school.chikayama.com/>
 共催： 芝浦工業大学 生涯学習センター



■長野県原村・エコラの森の伐採体験ツアー



■木構造の講座



■継手・仕口の強度試験

◆ 講師からのメッセージ
 「本講座の対象者は、家の住まい手、実務者を問いません。むしろ双方が同じ場で学びあうことが、良い住宅づくりに結び付くのです。是非とも一緒に学びましょう。」



■講義風景



■温熱環境の実験



■木材の強度測定の説明

《講座内容 & 日程》

10月17日 (土)	●今、木造住宅を建てたい人つくる人が知っておくべきこと ●近未来(2025年)の住宅	蟹澤宏剛 松村秀一	芝浦工業大学教授 東京大学大学院教授
最初に、この講座全体の目的や位置づけと、昨今の住宅建築を取り巻く現状について説明します。その後、住宅に纏わる様々なジャンルで官・民の指導的立場におられる東京大学の松村さんより、近未来の住宅についてお話を伺います。			
11月21日 (土)	●わかりやすい木造住宅の構造・初級編	山辺豊彦	山辺構造事務所代表 日本建築構造技術者協会東京サテライト代表
木造建築の構造に関して職人との数多くの共同実験を行ってきた実践的専門家である山辺さんにより、木造住宅の軸組や木の組み方に関する基本的な考え方を、わかりやすく解説していただきます。初心者に限らず、実務者にも是非とも確認していただきたい内容です。			
12月19日 (土)	●省エネと環境負荷の基礎知識	秋元孝之	芝浦工業大学教授
省エネや環境負荷の低減が注目されていますが、その基本は意外に知られていません。この講義では、この分野で国の様々な基準づくりに関わられている芝浦工大の秋元さんに自立循環型住宅とCASBEE(戸建)の考え方やエコデザインのための基本と環境評価のシステムについてお話しいたします。			
1月16日 (土)	●長持ちする建物の考え方とその仕様(解説) ●実践例の紹介	加来照彦 大井明弘 日影良孝	現代計画研究所 アトリエデフ 日影アトリエ
実際に長持ちする建物を建築するには、様々な条件が絡み合います。それをどう解きほぐすのか。また、法や規則に適合しにくい自然素材と伝統構法をどのように実現するのか。この回の講義では、長期優良住宅を実践してこられた3名にお話を伺います。			
3月6日 (土)	●木の見かた、調べかた、選びかた ●山の木が木造住宅になるまで	大河原章吉 浜田久美子 佐藤和歌子	フォレスト西川理事長 作家 NPO 森林をつくろう理事長
良い木の家を建てるのははじめの一步は良い木を選べるようになることです。この回は、木を知り尽くした大河原さんに良い木とはなにか、乾燥方法や目視級の生かし方、品質の見究め方など、実践テクニックを学ぼうというものです。また、現在の木材規格が山の生産者や実際の家づくりにどのように関わっているのか、森と木と家に関心をもってこられた浜田さん、佐藤さんに伺います。			
3月20日 (土)	●地震に強く、火にも強く、環境に優しい木造住宅の実践例	安井昇 高橋昌巳 直井徹男	桜設計集団代表 シティ環境建築設計代表 直井建築工房代表
敷地の制限、防火規制により都市部で本格的木造住宅を建てるのは容易ではありません。この難しい問題に日々取り組んでいる方々から、その実践テクニックを学びます。のみならず、この講師陣には、良き職人との出会い方、つきあい方、発注システムなど聞き所満載です。			

- * 本講座は建築士会のCPD認定プログラムです。(2008年度実績、2009年度申請中)
- * フィールドツアーについては、10月の講座でお知らせします。

《会場・交通機関》

芝浦工業大学豊洲キャンパス
東京都江東区豊洲3-7-5



◆ ◆
JR京葉線豊洲駅下車 1aまたは3番出口から徒歩7分
JR京葉線越中島駅下車 2番出口から徒歩15分

近山スクール東京 書籍のご案内

「木の家をつくるために、これだけは知っておきたいこと」



木構造の山辺先生、建築と環境の宿谷先生ら、幅広い内容の人気講師陣の講義録を収録、写真や図版で、講座をわかりやすく再現。受講者の声による臨場感ある内容、講師が薦める参考文献一覧付き、書店では入手できない貴重な本。

編集・発行：近山スクール東京
体裁：A5版 208ページ (カラー96ページ) 並製
定価：1500円(税込)+送料160円
発売日：2009年4月1日

>>> お求めは近山スクール東京のホームページから <<<
<http://tokyo.school.chikayama.com/>